

直方文化財散歩・記念碑巡り 石炭輸送の川舟船頭の遺跡

石炭輸送の主役交代

地底深くから坑夫たちが苦勞して掘り出した石炭も消費者に届けなければ商品にはなりません。

江戸時代以前から年貢米や木材などの重量物の大量輸送に活躍したのは多数の支流を有する遠賀川水系を利用した川舟による水運でした。

明治時代になって筑豊炭田の開発が進むと「川ひらた」「五平太舟」と呼ばれた川舟が石炭輸送を独占していました。

洪水、渇水の影響を受ける川舟は明治二四（1891）年の筑豊興業鉄道開通後は衰退し交代しましたが直方市内には川舟に関する当時の遺跡がいくつか残っているので紹介します。

浅原歳松君碑（植木）

JR九州・筑前植木駅の北の光田踏切を西へ渡って右折し鞍手町へ向かう道路左手の墓地内にある大きな石碑です。



川舟船頭団体寄進の灯籠（植木・天満宮境内）



川舟船頭頭領・浅原歳松の碑（植木・光田踏切付近墓地内）

浅原歳松は川舟船頭の頭領で、地域社会にも大きく貢献した人でした。碑には金文字が新しく入っており、台石には当時の川舟船頭たちの名前が刻まれています。

川船頭団体寄進の灯籠（植木天満宮）

植木の天満宮の鳥居をくぐった参道の左右にあります。

川舟船頭の団体が寄進したもので、明治二四年の筑豊興業鉄道開通の二年前に建立されました。



川舟船頭が信仰した金毘羅宮（植木・天満宮境内）

金毘羅宮（植木天満宮境内）

前記の灯籠から道路の下をくぐって本殿へ上がる右側にあります。

金毘羅宮は海上交通の守護神として全国の海運業者の信仰を集め、香川県琴平町の「こんぴらさん」が有名ですが遠賀川の川舟船頭たちも水上交通の安全を祈願した名残りです。

博識稲荷神社境内の小石碑

津田町の博識稲荷神社（通称・外町のお稲荷さん）の鳥居をくぐってすぐ左側に川舟船頭の寄進を示す小さな石碑があります。

日の出橋西口の双子銀杏は冬場に川霧が濃いときの川舟船頭たちの目印で、すぐ近くの稲荷神社も水運安全の信仰対象でした。

直方の歴史と文化

文 桧 正 澄

文化財に関する問い合わせ：文化スポーツ推進課社会教育係（TEL 25-23326）

人の動き

■人口 56,042 人（－336） ■世帯数 27,404 世帯（＋92）
[うち外国人 582 人]

男 26,435 人（－206）
女 29,607 人（－130）

令和3年9月末現在
（ ）は前年同月との比較

<発行>直方市
〒822-8501 福岡県直方市殿町7番1号
URL … <http://www.city.nogata.fukuoka.jp/>
<発行日>毎月1日（月1回）
<編集>秘書広報課秘書広報係
TEL … (0949)25-2236 FAX … (0949)22-5107
E-MAIL … n-koho@city.nogata.fukuoka.jp
<印刷・制作>株式会社ワールドプリンティング



市ホームページ

UD FONT

インターネット 情報提供サービス

SNSやウェブサイトで様々な情報発信を行っています。ぜひ、ご覧ください。

直方市Instagram



さあ、あなたもフォロー！

アプリ「マチイロ」



市報をアプリで配信！

直方市公式LINE



直方市と友だちになろう！

情報メール「つながるおがた」



緊急情報、イベント情報など

直方市バーチャルミュージアム



直方の文化を隅々まで